

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	右側相同心における発作性上室性頻拍の臨床経過と心電図波形変化の検討
研究責任者	小児循環器科/成人先天性心疾患科 宮崎 文
研究実施体制	当院単施設での研究です。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～2035 年 12 月 31 日
対象者	1995 年 1 月以降当院を受診された右側相同心、単心室、フォンタン術後患者様
研究の意義・目的	今回の研究目的は、右側相同心の発作性上室性頻拍の長期予後と心電図波形の変化を検討し、発作性上室性頻拍の長期予後を見据えた治療方針を検討することです。 右側相同心の方は、頻拍発作が起こることが多いのが知られています。この頻拍発作は、生まれもった心臓の中の電気の道（刺激伝導系）に異常があり発生します。頻拍発作の治療は、刺激伝導系を抑えることとなりますが、どのような治療をすることが、患者様の一生にとって一番よいかは未だ不明です。 そこで、① 当院で診療されている右側相同心の患者様の頻拍の治療と長期間の臨床経過検討し、② 右側相同心の方の刺激伝導系の変化を、他の単心室や Fontan 術後の患者様と比較検討を行い、患者様の状態にどのような影響をあたえているか研究することにしました。 この研究の結果で、患者様のライフスパンを見据えた治療につなげることができると考えています。
研究の方法	この研究は、通常の診療で得られた下記の記録をまとめるものです。 （診断名、生年月日、性別、身長、体重、解剖学的診断名、過去の手術の既往、頻拍発症の有無と種類、頻拍に対して行った治療、血液検査、画像検査、心電図検査、カテーテル検査等） このデータをもとに、 1) 臨床的な二つの房室結節（生まれ持った刺激伝導系の異常）の診断率 2) 発作性上室性頻拍の発症率 3) 発作性上室性頻拍の治療とその経過 4) 心電図の加齢に伴う変化 5) 心電図変化に伴う血行動態の変化 を検討します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 小児循環器科・成人先天性心疾患科 （氏名） 宮崎 文 TEL: 053-474-2222(代表) 小児循環器科外来 9:00～17:00 平日